



第 86 卷 第 1 号 史学・地理学・考古学

論 説		
捐納と印結について……………	伍 躍	(1)
——清代捐納制度論考(二)——		
王政復古政府論……………	高 橋 秀 直	(35)
八世紀前半における ビザンツ皇帝選出のダイナミクス……………	小 林 功	(71)
——「混乱の時代」の皇帝たち——		
研究ノート		
徳大寺家の莊園集積……………	佐 伯 智 広	(101)
書 評		
笹本正治著『山に生きる』……………	米 家 泰 作	(122)
紹 介		
矢田俊文著『日本中世戦国期の地域と民衆』……………	平 出 真 宣	(128)
遼東先史遺跡発掘報告書刊行会編『文家屯』……………	伊 藤 淳 史	(130)
平成十四年度史学研究会大会関係記事		

史 学 研 究 会

京都大学文学部内

七七一七八年の反乱（ブリュエンニオスの祖父が起こし、アンナの父アレクシオスが鎮圧した）の記事を比べると、アンナの歴史家としての優れた能力を窺うことができ

る。
自分が生まれる前の事件を記すにあたってアンナは夫の『歴史』を参照した。アンナの叙述には、現存しているブリュエンニオスのテキストと矛盾するような文言もみられるが、これは不注意に写し間違えたものではなく、後世のブリュエンニオスの写本筆者が誤ったもので、アンナは原本を正確に読み取ったうえで利用している。しかも、反乱の前半を思いきって削除したり、聞き取りに基づく独自の情報を盛り込んだりして、アレクシオス一世賞賛というテーマに沿って全面的に書き改めている。『歴史』にはほとんどみられないホメロスの引用も、父を称えるという目的から彼女が積極的に行ったものである。
確かに、ブリュエンニオスの草稿がなかったと結論することは難しい。しかし、完成された作品である『歴史』を利用するに際しても、大幅に書き換えているアンナであるから、たとえ草稿があったとしても、

独自の調査を踏まえて、全面的に書き改めたであろう。

私たちが読む『アレクシオス二世伝』はやはりアンナ・コムネナの著作である。

受 贈 誌

（二〇〇二年八月一九日）
（二〇〇二年一〇月三日）

岐阜経済大学論集（岐阜経済大学学会）三

五—四

アジアセンターニュース（国際交流基金ア

ジアセンター）二二—

中央研究院歴史語言研究所集刊（中央研究

院歴史語言研究所）七三—二

熊本史学（熊本史学会）七八・七九合併号

経済論集（서울大学校経済研究所）四—

二—

Вестник Древней Истории (Институт

Всобщей Истории РАН) 2002-2 (241)

Этнографическое Обозрение (Институт

Этнологии и Антропологии имени Н.

Н. Миклухо-Маклая РАН) 2002-3

史料（皇学館大学史料編纂所）一七三—一

八一—

文書館だより（栃木県立文書館）三三—

愛知大学文学論叢（愛知大学文学会）二二—

六—

龍谷史壇（龍谷大学史学会）一一八

人文学報（京都大学人文科学研究所）八六

東洋学文献類目（京都大学人文科学研究所

附属漢字情報研究センター）一九九九年

度

東方学報（京都大学人文科学研究所）京都

七四

海南史学（高知海南史学会）四〇

史学研究（広島史学研究会）二二七

国立台湾大学法学論叢（国立台湾大学法律

学系出版）三〇一五・三一―二

韓國民族文化（釜山大学校韓國民族文化研

究所）一八

中国史研究（中国史学会）一九

日本学刊（中華日本学会・中国社会科学院

日本研究所）二〇〇二―四―五

長崎大学教育学部社会科学論叢（長崎大学

教育学部）六一

歴史研究（大阪教育大学歴史学研究室）三

九

海軍史研究（日本海軍史学会）五九

釜山大学（釜山大学校）二五・二六合輯

史学雑誌（史学会）一一一―一八・九

古代文化（古代学協会）五四―七―九

立命館大学国際平和ミュージアム日より

（立命館大学国際平和ミュージアム）一

〇―一

Anthropological Science (Japanese

Series) (日本人類学会) 一〇―三三

一橋論叢（一橋大学一橋学会）二二八―三

―四

史迹と美術（史迹美術同友会）七二七―七

二八

国史談話会雑誌（東北大学国史談話会）四

三

史観（早稲田大学史学会）一四七

史園（園田学園女子大学歴史民俗学会）三

日本歴史（日本歴史学会）六五三

歴史学と歴史教育（歴史学と歴史教育の

会）六一

地域史研究はこたて（函館市史編さん事務

局）三三

神道宗教（神道宗教学会）一八六

信濃（信濃史学会）五四―九

人文研究（大阪市立大学大学院文学研究科

歴史学）五三―二

日本史研究（日本史研究会）四八一

編集後記

八六巻二号をお届けいたします。新年号は各分野から、多彩な形式と内容で紙面を飾ることができました。

私の専攻分野では（でも？）就職難が深刻な昨今ですが、おかげさまで他大学の常勤職に就くことになりました。最後の編集業務で立つ鳥跡を濁していかないか不安ですが、よろしくご味読ください。（伊）

◆史学研究会ホームページ・アドレス

<http://www.hun.kyoto-u.ac.jp/~kanga/SHR/index.html>

本誌には文部省科学研究費補助金研究成果公開促進費が交付されており、

二〇〇二年二月五日印刷 定価 二〇〇円
二〇〇三年一月一日発行

史林 第八六巻第一号（通巻第四三七号）

〒六〇六一八五〇一

京都市左京区吉田本町

京都大学大学院文学研究科内

史学研究会

振替京都 〇一〇七〇二一五五番

理事長 鎌田元一

印刷所 中村印刷株式会社
京都市南区上鳥羽薬田一九

THE SHIRIN

or the

JOURNAL OF HISTORY

Vol. LXXXVI No. 1

January 2003

CONTENTS

Articles :

- WU Yue, The Purchase of Office and Letters of Guarantee :
An Examination of the Purchase of Office System during
the Qing Dynasty (II) (1)
- TAKAHASHI Hidenao, A Study of the *Ousei-fukko* Regime (35)
- KOBAYASHI Isao, The Dynamics of the Election of the Byzantine Emperors
in the Seventh and Eighth Centuries : The Emperors of the
"Age of Anarchy" (71)

Note :

- SAEKI Tomohiro, The Accumulation of *Shouen* Holdings
by the Tokudaiji Family (101)

Book Review :

- SASAMOTO Masaharu, *Living in Mountain* (KOMEIE Taisaku) (122)

Miscellaneous :

Published

by

THE SHIGAKU KENKYUKAI

(The Society of Historical Research)

Kyoto University, Kyoto, Japan

ISSN 0386-9369